



別府市総合体育館アリーナ様 天井外改修工事

移動式足場

工事部
田代光矢

災害時の避難所となるように

体育館の天井と床の改修工事

別府市様からご依頼を受けて、『別府市総合体育館アリーナ』の改修工事を行っています。工事は2023年の10月にスタートし、2025年の3月に完成予定です。工事の詳細について、工事部の田代光矢のインタビューをお届けします。

● 改修工事の目的

災害時の避難所となるように、天井と床の改修工事を行っています。こちらの体育館は、22年前の避難所指定基準には問題ありませんでしたが、東日本大震災以降に耐震基準が変わったため、新しい基準に合った改修工事を行っています。

● 改修工事の流れ

最初に床を解体しました。そしてAからHまで工区を分

けて、まず天井の改修を行い、天井の改修が終わった工区の床を改修していく流れです。

● 移動式足場の導入

天井が高く、また大規模な改修工事となるため、FTKエンジニアリング株式会社様の「外部移動式足場」を使っています。足場の脚部に移動装置やレールが設置されることで、足場を移動することができ、危険作業の減少や、工期の短縮につながります。

● 改修工事に携わってみて

改修工事の立ち上げから参加させていただき、また多くの関係各社様とのやりとりもあって、大変勉強になっています。体育館を多くの皆様に安心して使っていただけるように、来年春の完成に向けて、尽力いたします。



バレーボールなどの支柱を入れる基礎コンクリート



移動式足場が動くレール



荷物をのせて昇降する作業台



床はフローリングではなく国際規格に合わせた長尺シート仕上げ

防災グッズ配布



大分県防災アドバイザー
有限会社 明石文昭堂
明石佳子様

防災アドバイザー推薦のリュックで備える

今年の1月には能登半島地震が発生し、8月には日向灘地震が発生しました。地震や台風などが頻繁に発生する日本は、災害リスクが高い国です。災害の備えとして、当社の全社員用の防災グッズを7月の安全大会で特別講師をしていただいた明石佳子様（大分県防災アドバイザー／有限会社 明石文昭堂）にお願いして選んでいただきました。防災グッズの内容は水や食料・消毒や歯ブラシなどの衛生用品・ライトや軍手から、グッズを収納するリュ

ックサックまで多岐に渡ります。全て明石様が実際に使ったものから選んでいただき、リュックサックは女性でも背負えるように胸ベルトと腰ベルトがついたものになっていたり、ライトは両手が使えるネックライトになっています。

9月30日には、弊社大会議室にて防災グッズを配布しました。また、明石様をお招きして、防災グッズのポイントや使い方についてご講演もいただきました。防災減災への取り組みは生活の延長線上にあります。ただ持っているだけではなく災害時に有効に活用できるように、社員一同で、日頃より、防災意識を高めてまいります。



編集
後記

11月になりました。寒さがこたえる季節がやってきます。建設現場では、防寒対策が必要になります。寒さ対策や感染症対策を徹底して、冬場も安心・安全に、元気に業務に取り組みます。



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらをご覧ください。



HP



FB



最新情報
発信中！